

葛城市

はじめるネット

第6号

2018年4月

『葛城市はじめるネット』



パソコン・
スマホ両対応

<https://www.hajimerunet.com/>



発行 吉村はじめと始める会

将来の葛城市づくり 力を合わせなければ

はじめ
吉村 始

私は、いま葛城市の一番の課題は「財政問題」だと考えます。市の財政は、ここ数年間で一気に悪化しています。財政の裏付けなくして、市の将来像、市民の夢は描けません。阿古市政は、住民サービスは維持しつつ、市財政を健全化するべく努力しておられます。その姿勢に共感します。

二つの問題が相次いで発覚しました。【→うら面へ続く】

昭和43年1月1日、葛城市生まれ
新北小、新庄中、畝傍高、立命大卒
図書館司書(公務員)、出版社勤務、
のち出版社を創業し代表取締役
昨年11月から葛城市議会議員

吉村はじめと始める会

〒639-2101 奈良県葛城市疋田379

電話&FAX 0745-69-7590

約1億8000万円

(有権者一人あたり6000円)

旧(新庄)町時代における 未処理金問題

百条
可決

いつ、誰が、どのように未処理金を作ったのか、客観的な事実にもとづいてお金の出所を明らかにすることが調査の出発点です。私も調査特別委員会委員の一人として真相究明に努めます。

※私は、まずは書類検査などができる地方自治法98条による特別委員会を設置し、慎重に調査をすべきと主張。しかし証人を偽証罪に問えるなど、最初から強力な百条調査権を用いて始めることに、多数決で可決されました。

助成金返納 約1億6400万円

有権者
一人あたり

十 不正支出 約3500万円

6600円

問題調査
百条否決

道の駅かつらぎ問題

市職員による公文書改ざんや架空工事などの事実が次々と明らかになりました。また助成金の目的外使用などを指摘され、市が約1億6400万円(今後増える可能性も)を返納する事態に。

不正支出問題、市議会可決せず

すでに市監査委員が約3500万円の不正支出があったと勧告している件で、市が民事訴訟を起こすために議案を出しましたが、市議会が結論を先延ばしに。市民の財産を守るため、市議会は速やかに可決すべきです。

※特別委員会(地方自治法第98条1項の権限付与)の設置が全会一致で可決。それだけでは不十分と、百条調査権を付与する動議を梨本議員が出し、私も賛成に回りましたが、多数決で否決されました。

【→おもて面から】「道の駅かつらぎの不正問題」と「旧町時代の未処理金問題」とは、マスコミも注目、連日報道されました。まずはこれらの問題に皆が協力して決着をつけて、葛城市の将来の土台を築いていくという次のステージに移らなければなりません。

3月5日から23日にかけて「平成30年第1回葛城市議会定例会」が開かれました。

私は、総務建設常任委員会と予算委員会での質疑に参加しました。本会議の一般質問では、「財政問題」を解決する一つの手立てとして、「葛城市民目線」で考えることを始めようと提案しました。市会議員になって強く感じるのは、「當麻町」「新庄町」や「旧村地域」「新興地域」などの意識の壁です。それらの壁は、ときに市民対立の原因の一つになっているように思います。

子どもたちに「胸をはれる葛城市」実現のためには、「一つの葛城市」全体を見渡して、公共施設や交通インフラなどのまちづくりの知恵を絞っていく必要があると考えます。

3月議会の「一般質問」で 吉村 始が質問・提案したこと

【質問と提案要旨】

①尺土池周辺道路の安全確保

尺土池周辺の道路は歩車分離が十分されておらず、今後、池に沿った歩行者の同線確保が必要。木戸池公園のように回遊できる形に整備できないか？ 旧當麻町と旧新庄町の結節点をつなぐ象徴になるのでは。

②屋敷山公園施設の再整備

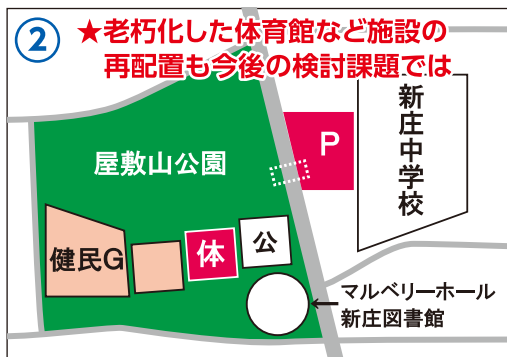
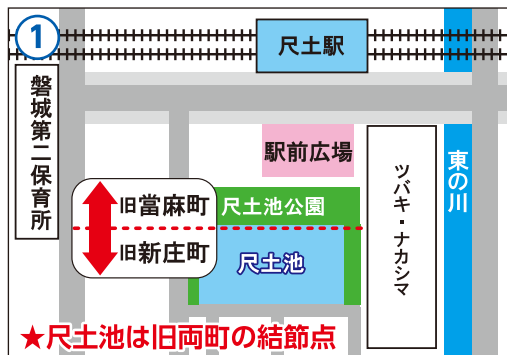
屋敷山公園は立地上、車でのアクセスが多い。しかし、駐車場からの動線が、子育て世代や高齢者に優しくない。旧新庄町民の利用を前提に整備された公園の再整備を、葛城市民の目線で考えるべきでは。

③葛城市の機構改革

旧町施設の重複などが職員負担の要因にもなっていると考え。将来のまちづくりを見通した、公共施設の配置などとリンクした今後の機構改革について問う。

質問の詳細と答弁は[Web版はじめるネット](#)で

※葛城市公式サイト・葛城市議会「平成30年第1回葛城市議会定例会会議録」ページ(議会事務局作成)にリンクします。



吉村始は「是々非々」の姿勢です。

しがらみのない政治・市民目線の政治・子どもたちに「胸をはれる葛城市」

「議会が変われば、市政が変わった」と市民の皆様にも実感してもらえるように、志を同じくする青雲会の若手議員(奥本議員、梨本議員)をはじめとする皆さんと力を合わせてまいります。